



図書管理システム
セットアップマニュアル

目次

動作条件	2
運用形態の確認	3
セットアップの流れ	4
Step1 セットアップ前の準備（パソコンの選定）	5
Step2 セットアップ前の準備（ネットワーク接続の設定）	5
Windows 10/8.1/7/2019/2016/2012/2008 R2 のネットワーク接続の設定	6
Windows 10/8.1/7/2019/2016/2012/2008 R2 のファイアウォールの設定	9
Windows 10/8.1/7 のスリープ設定の解除	12
Windows 10/8.1/7/2019/2016/2012/2008 R2 のネットワーク設定 -ファイルとプリンターの共有設定	14
Windows 10/2019 の入力方式の設定	15
Windows 8.1/2016/2012 の入力方式の設定	16
Windows 2008 のネットワーク接続の設定	17
Windows 2008 のファイアウォールの設定	19
Step3 セットアップする	22
エラーが表示されたら	28



LibMax の セットアップ

LibMax を使用するには、コンピュータにセットアップする必要があります。

ここでは、セットアップ、接続テストの方法について解説します。

動作条件

対応OS	Windows 10/8.1/2019/2016/2012/ 日本語版 Windows10/8.1 は Pro 推奨 32bit 版と 64bit 版の両方に対応 Windows server は R2 に対応 サーバーは Linux に対応 (3GHz 以上の CPU 推奨)
ディスプレイ	1366 × 768 以上の解像度必須 256 色以上の表示(小さいフォント)で使用
プリンタ	Windows 対応レーザープリンタ、または、インクジェットプリンタ ※LibMax からの出力帳票は全て A4 以下 バーコード印刷にはレーザープリンタを推奨
バーコードリーダー	USB インターフェースで使用可能な機種 CODE39・NW7 の読取対応機種(60mm 幅～)
ネットワーク	クライアントサーバー、TCP/IP プロトコル必須

	サーバー・スタンドアロン	クライアント
CPU	インテル Core i3 以上または同等の性能を持つプロセッサ	
メモリ	使用する OS の動作要件を満たすメモリ ※Windows 10 は 4GB 以上推奨 ※Windows 8.1 は 4GB 以上推奨 ※Windows 2019/2016/2012/は 8GB 以上推奨	
ハードディスク	・ インストール時には 2GB 以上の空き容量が必要 ・ 図書冊数 1 万冊につき約 100MB の容量を使用	・ インストール時には 500MB 以上の空き容量が必要

※ LibMax をインストールするパソコンに、Windows インストーラ 2.0 以上がインストールされている必要があります。

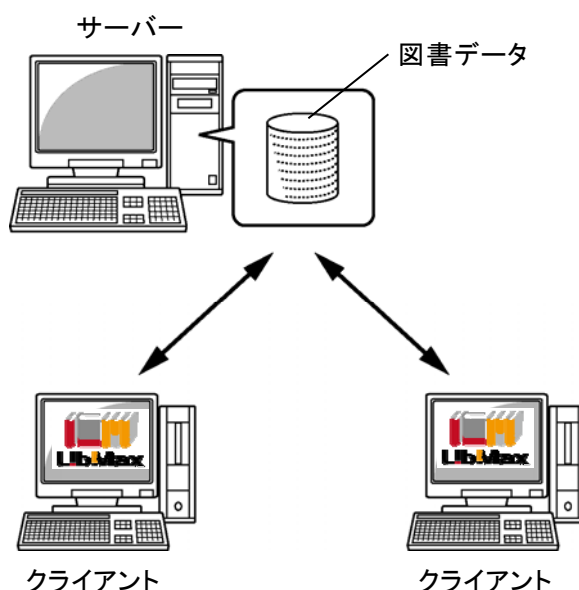
運用形態の確認

LibMax は、複数台のパソコンでネットワークを構築して運用することも、パソコン 1 台のみで運用することも可能です。

■ 複数台のパソコンで運用する場合(1 台のサーバーと、1 台または複数台のクライアント)

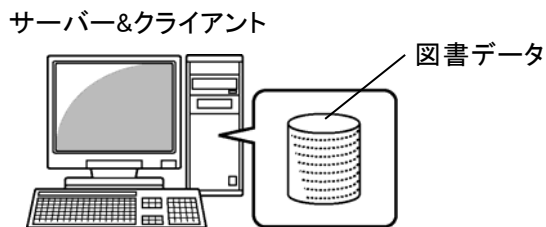
図書データはサーバーのパソコンにのみ登録され、クライアントのパソコンには登録されません。クライアントのパソコンでは、サーバーのパソコンから図書データを読み込んで、各種業務を行ったり、サーバーのパソコンへデータを書き込んだりします。

※ 複数台のパソコンで運用するには、LibMax ネットワークライセンスが必要です。



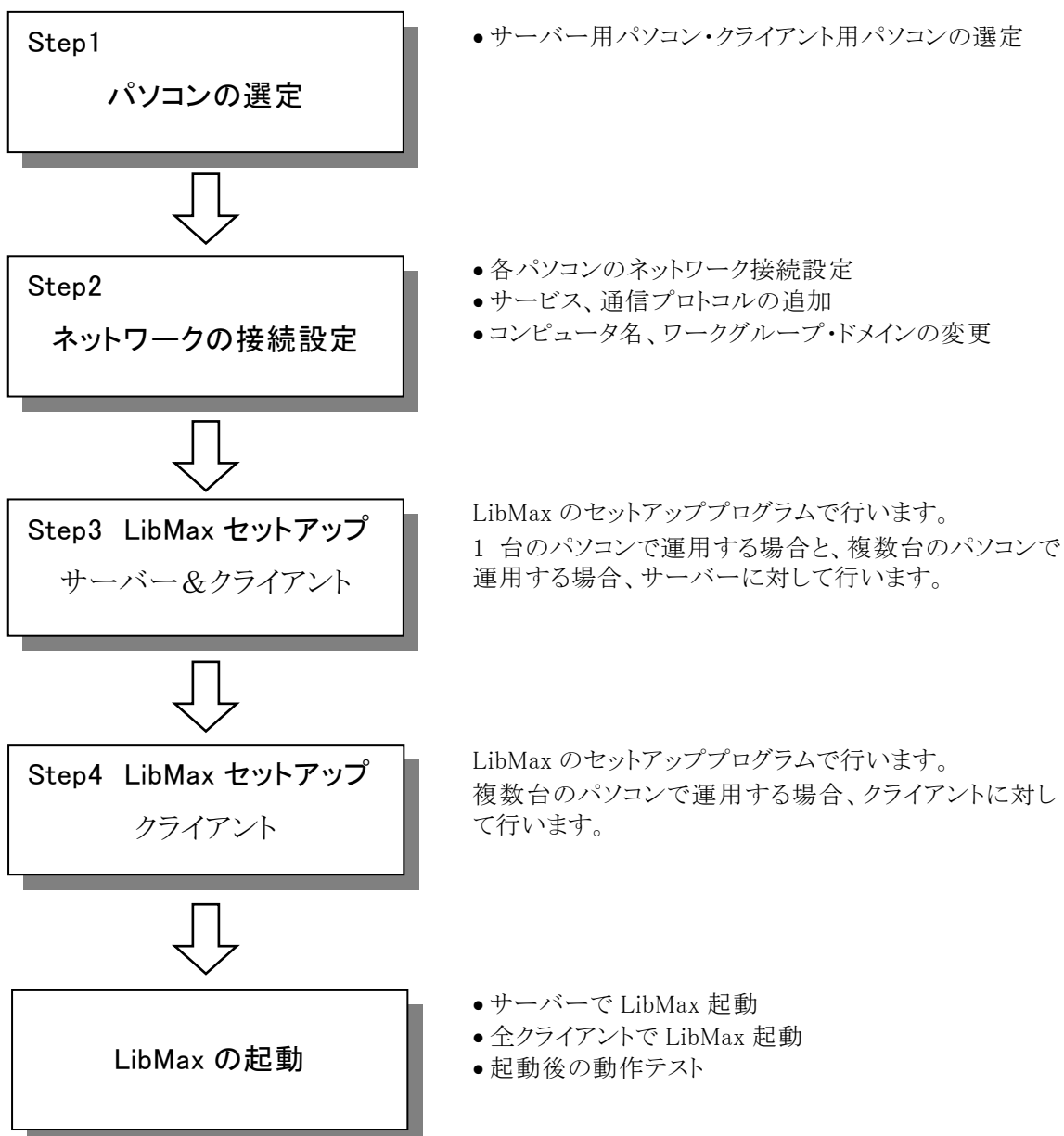
■ 1 台のパソコンで運用する場合(サーバー&クライアント)

1 台のパソコンが、図書データを保有するサーバーの役割と、窓口業務や蔵書検索などを行うクライアントの役割の両方を持ちます。



セットアップの流れ

ここではセットアップ操作を簡単に解説します。



Step1 セットアップ前の準備（パソコンの選定）

LibMax は C/S (クライアント・サーバー) システムです。この場合、サーバーの選定が重要となります。専用のサーバーがなく、通常のパソコンを使用する場合は、最も性能のよいものをサーバーとしてください。

また、LibMax のデータはサーバーに蓄積されます。ハードディスクの空き容量が十分あるか、確認してください。容量の目安は、次のとおりです。

空き容量 図書冊数 1 万冊につき 約 100MB

Step2 セットアップ前の準備（ネットワーク接続の設定）

LibMax を使用するには、Windows のネットワーク機能が正常に動作している必要があります。

- ◆ ネットワークカード・LAN ケーブル・HUB (2 台ではクロスケーブルのみでも可能) でパソコンを接続してください。
また、ネットワークカードおよびドライバソフトをインストールする必要があります。付属のマニュアルを参照して、あらかじめインストールしておいてください。
- ◆ 機器の接続やドライバソフトのインストールが終了したら、ネットワークの設定を行います。
ネットワークの設定方法は Windows のバージョンによって異なります。ここでは、Windows のバージョンごとに、確認方法のポイントを解説します。



注意

サーバー & クライアント兼用にして 1 台で運用する場合も、コンピュータ名やネットワークプロトコルなどを設定する必要があります。

■ Windows 10/8.1/7/2019/2016/2012/2008 R2 のネットワーク接続の設定

※ すでに構築されているネットワークに参加する場合は、通信プロトコル、コンピュータ名などの設定方法をネットワーク管理者に問い合わせてください。

1 Administrator 権限で、Windows にログインします。

※ 制限ユーザーでは設定できません。

2 Windows10/2019 の場合は、スタートメニューの右横にある をクリックして検索欄を表示させます。「コントロールパネル」と入力すると、検索結果に[コントロールパネル]が表示されるので、クリックします。

Windows8.1/2016/2012 の場合は、[Windows]キー+[X]キーを押してメニューを表示させ、[コントロールパネル]を選択します。

Windows7/2008 R2 の場合は、[スタート]メニュー[コントロールパネル]を選択します。

・コントロールパネルがカテゴリ表示の場合

[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

・コントロールパネルがアイコン表示の場合

[ネットワークと共有センター]をクリックします。

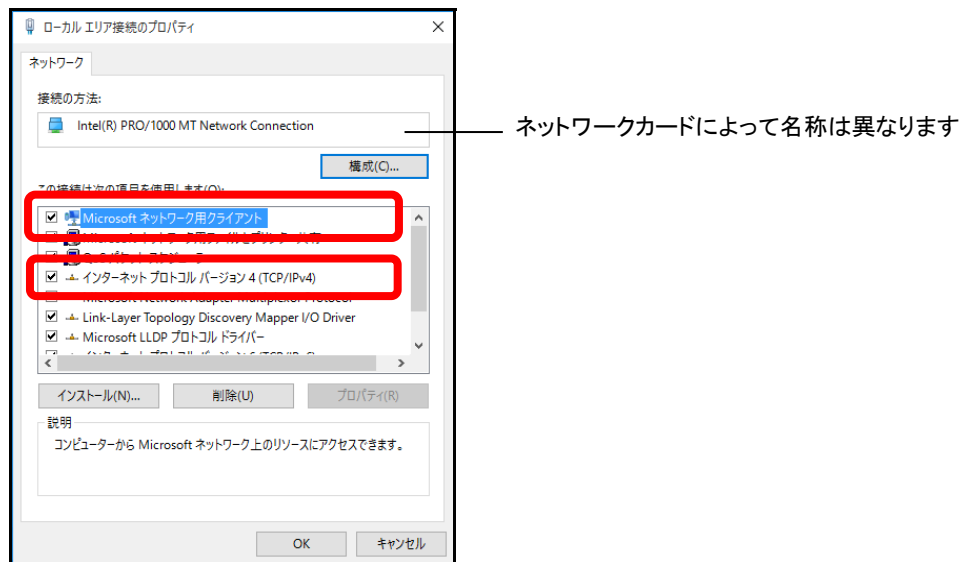
[ネットワークと共有センター]画面が表示されます。

3 左側のタスクから[アダプターの設定の変更]をクリックします。

[ネットワーク接続]画面に切り替わります。

4 [イーサネット(ローカルエリア接続)]アイコンを右クリックして、表示されたメニューから[プロパティ]を選択すると、[イーサネット(ローカルエリア接続のプロパティ)]ダイアログが表示されます。

5 「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「インターネットプロトコル バージョン 6(TCP/IPv6)」、「インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」がチェックされていることを確認してください。



6 完了したら[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

7 続いてコンピュータ名を設定します。

・コントロールパネルがカテゴリ表示の場合

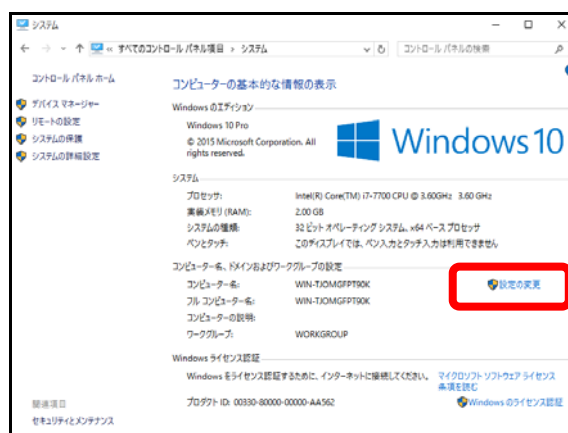
- ①[システムとセキュリティ]をクリックします。
- ②[コンピューターの名前の参照]をクリックします。

・コントロールパネルがアイコン表示の場合

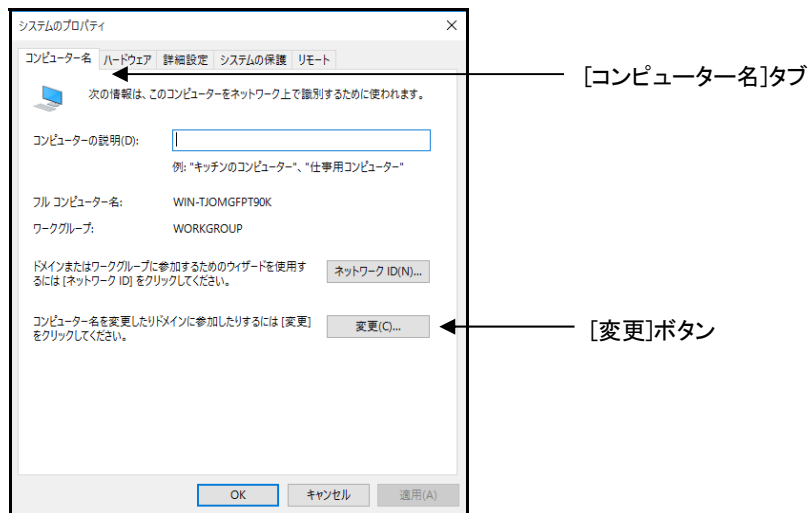
- ①[システム]をクリックします。

[システム]画面が表示されます。

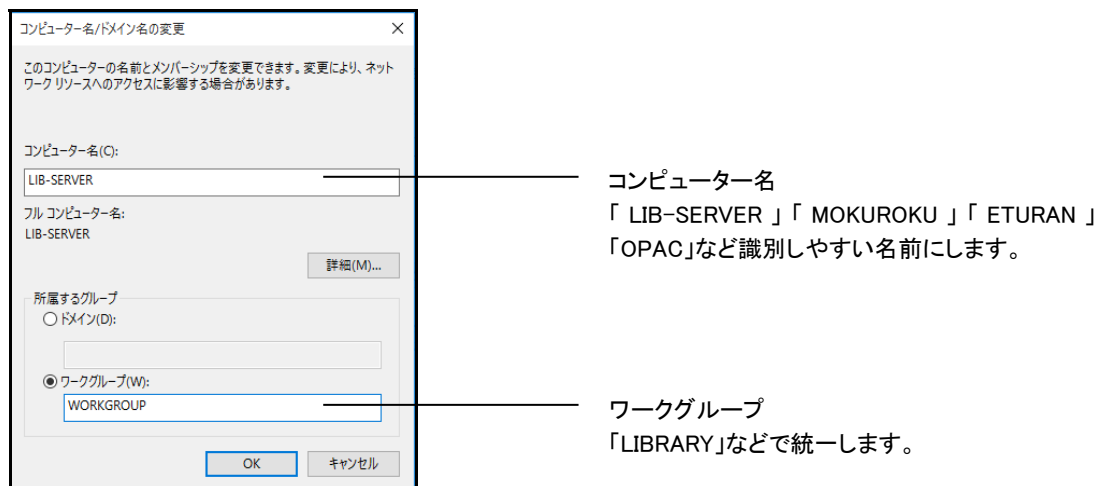
8 [コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定]の[設定の変更]をクリックします。



9 [システムのプロパティ]ダイアログが表示されたら、[コンピューター名]タブをクリックします。



- 10** [変更]ボタンをクリックします。
[コンピュータ名/ドメイン名の変更]ダイアログが表示されるので、コンピュータ名とワークグループを設定します。



注意

- ・コンピュータ名、ワークグループは半角英数字で入力してください。漢字など全角は使えません。
- ・コンピュータ名は、ネットワーク内で重複しないように付けてください。

- 11** 入力が終わったら[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

[スタート]メニュー-[コンピューター]を選択します。左側の[ネットワーク]のリストから、ネットワーク上の他のコンピュータが表示されることを確認します。

■Windows 10/8.1/7/2019/2016/2012/2008 R2 のファイアウォールの設定

Windows 10/8.1/7/2019/2016/2012/2008 R2 では、自動的にファイアウォールが設定され、自由にデータの受け渡しができなくなるため、LibMax を使用するには設定が必要です。

- 1 Windows10/2019 の場合は、スタートメニューの右横にある  をクリックして検索欄を表示させます。「コントロールパネル」と入力すると、検索結果に[コントロールパネル]が表示されるので、クリックします。

Windows8.1/2016/2012 の場合は、[Windows]キー+[X]キーを押してメニューを表示させ、[コントロールパネル]を選択します。

Windows7/2008 R2 の場合は、[スタート]メニュー→[コントロールパネル]を選択します。

・コントロールパネルがカテゴリ表示の場合

- ① [システムとセキュリティ]をクリックします。
- ② [ファイアウォールの状態の確認]をクリックします。

・コントロールパネルがアイコン表示の場合

- ① [Windows ファイアウォール]をクリックします。

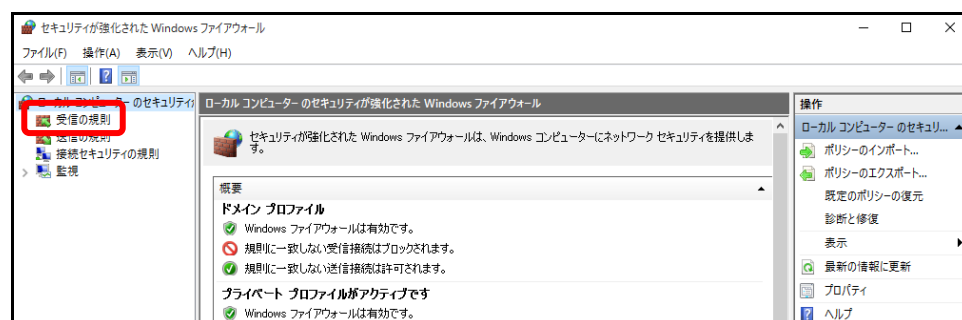
[Windows ファイアウォールによるコンピュータの保護]画面が表示されます。

2 [詳細設定]をクリックします。

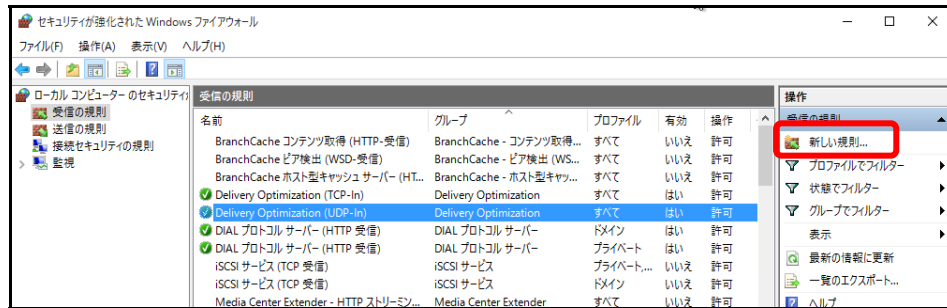


[セキュリティが強化された Windows ファイアウォール]ウィンドウが表示されます。

3 [受信の規則]をクリックします。

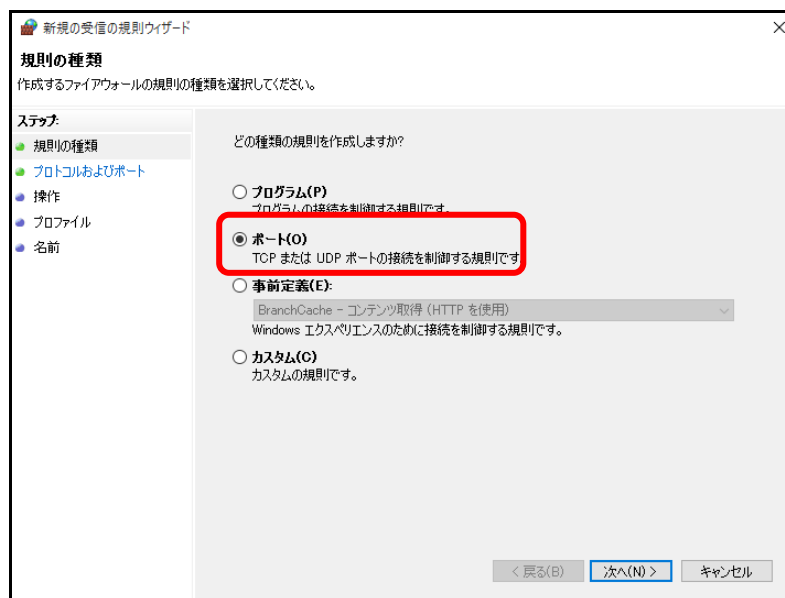


4 右側に[操作]欄が表示されるので、[新しい規則]をクリックします。

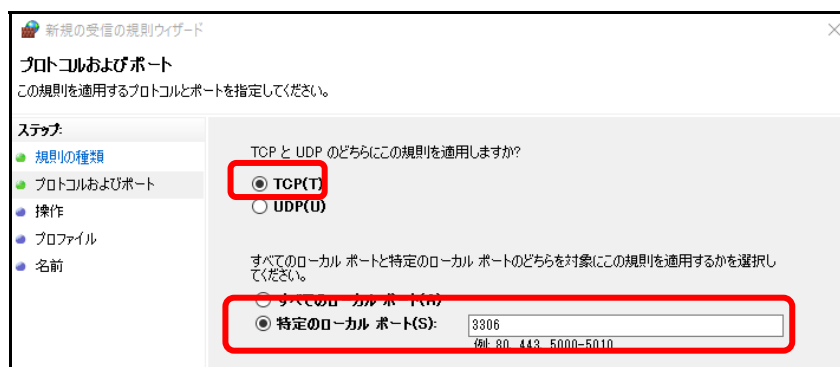


[新規の受信の規則ウィザード]が表示されます。

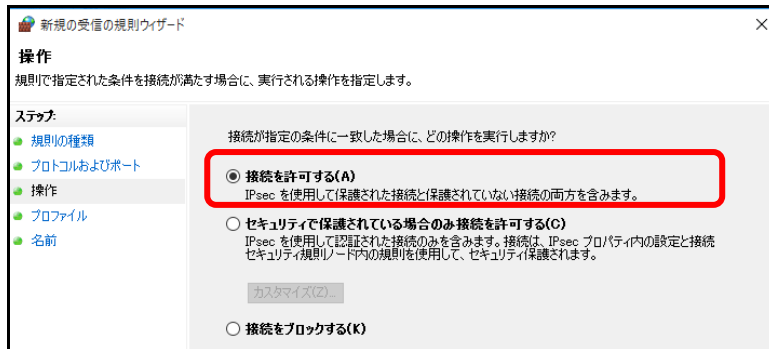
5 [ポート]を選択してから、[次へ]ボタンをクリックします。



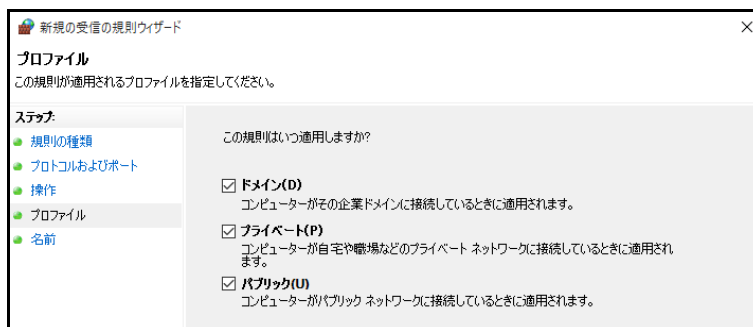
6 [プロトコルおよびポート]画面に切り替わります。プロトコルに[TCP]を選択し、[特定のローカルポート]欄に「3306」と入力してから、[次へ]ボタンをクリックします。



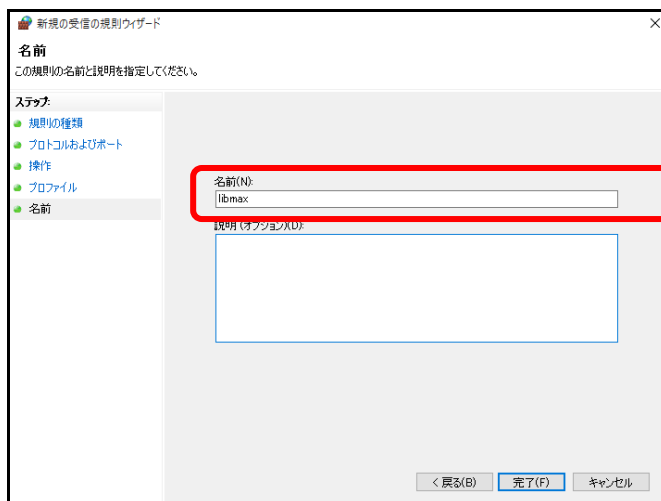
- 7 [操作]画面に切り替わります。[接続を許可する]を選択してから、[次へ]ボタンをクリックします。



- 8 [プロファイル]画面に切り替わります。[ドメイン][プライベート][パブリック]がチェックされています。[次へ]ボタンをクリックします。



- 9 [名前]画面に切り替わります。[名前]欄に半角のアルファベットで「LibMax」と入力してから[完了]ボタンをクリックします。



- 10 [完了]ボタンをクリックします。
設定が有効になります。

■Windows 10/8.1/7/2019/2016/2012/2008 R2 のスリープ設定の解除

サーバが自動的にスリープ状態(スタンバイ状態・休止状態)にならないようにします。

- 1 Windows10/2019 の場合は、スタートメニューの右横にある  をクリックして検索欄を表示させます。「コントロールパネル」と入力すると、検索結果に[コントロールパネル]が表示されるので、クリックします。
Windows8.1/2016/2012 の場合は、[Windows]キー+[X]キーを押してメニューを表示させ、[コントロールパネル]を選択します。
Windows7/2008 R2 の場合は、[スタート]メニュー→[コントロールパネル]を選択します。

・コントロールパネルがカテゴリ表示の場合

- ① [ハードウェアとサウンド]をクリックします。
- ② [電源オプション]をクリックします。

・コントロールパネルがアイコン表示の場合

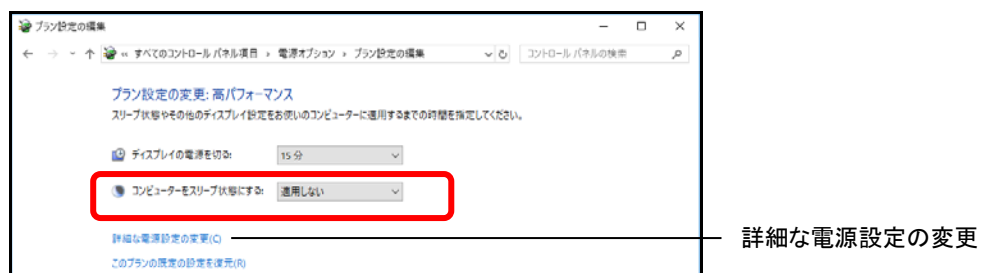
- ① [電源オプション]をクリックします。

- 2 [お気に入りのプラン]で選択中のプランの、[プラン設定の変更]をクリックします。

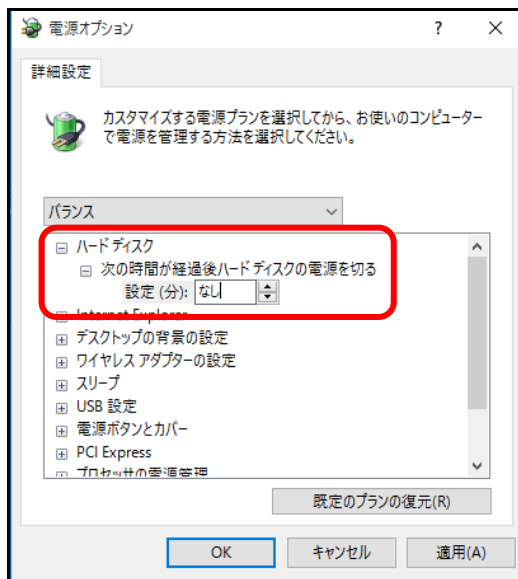


[プラン設定の編集]画面に切り替わります。

- 3 [コンピューターをスリープ状態にする]を「なし」(「適用しない」)に設定します。



- 4 [詳細な電源設定の変更]をクリックします。
[電源オプション]ウィンドウが表示されます。

5 [ハードディスク]－[次の時間が経過後ハードディスクの電源を切る]を「なし」に設定します。

※ 時間が表示されている場合は、時間をクリックして「0 分」にするか空欄にすると、「なし」に設定できます。

6 [OK]ボタンをクリックします。

[プラン設定の編集]画面に戻ります。

7 [変更の保存]ボタンをクリックして、設定を保存します。

■ Windows 10/8.1/7/2019/2016/2012/2008 R2 のネットワーク設定 -ファイルとプリンターの共有設定

ファイルとプリンターの共有を有効にする必要があります。

- 1 Windows10/2019 の場合は、スタートメニューの右横にある  をクリックして検索欄を表示させます。「コントロールパネル」と入力すると、検索結果に[コントロールパネル]が表示されるので、クリックします。

Windows8.1/2016/2012 の場合は、[Windows]キー+[X]キーを押してメニューを表示させ、[コントロールパネル]を選択します。

Windows7/2008 R2 の場合は、[スタート]メニュー→[コントロールパネル]を選択します。

・コントロールパネルがカテゴリ表示の場合

[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

・コントロールパネルがアイコン表示の場合

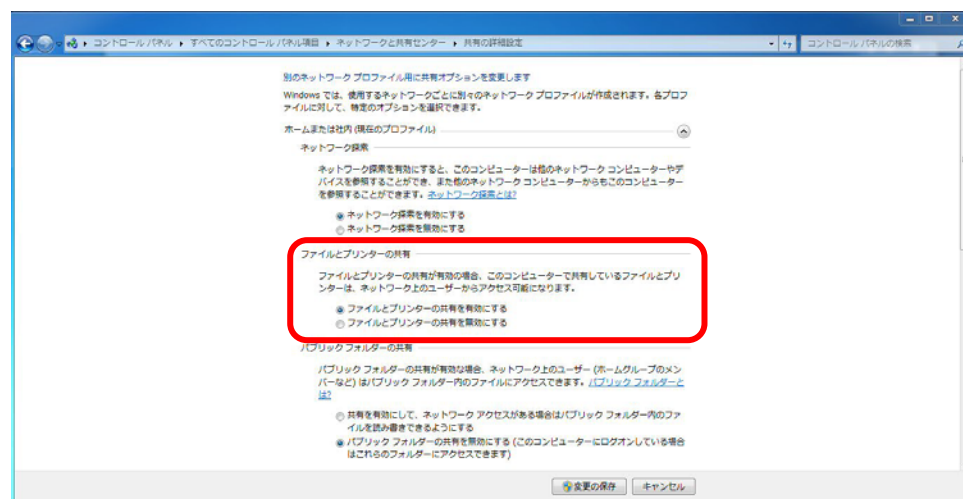
[ネットワークと共有センター]をクリックします。

[ネットワークと共有センター]画面が表示されます。

- 2 左側のタスクから[共有の詳細設定の変更]をクリックします。

[共有の詳細設定]画面に切り替わります。

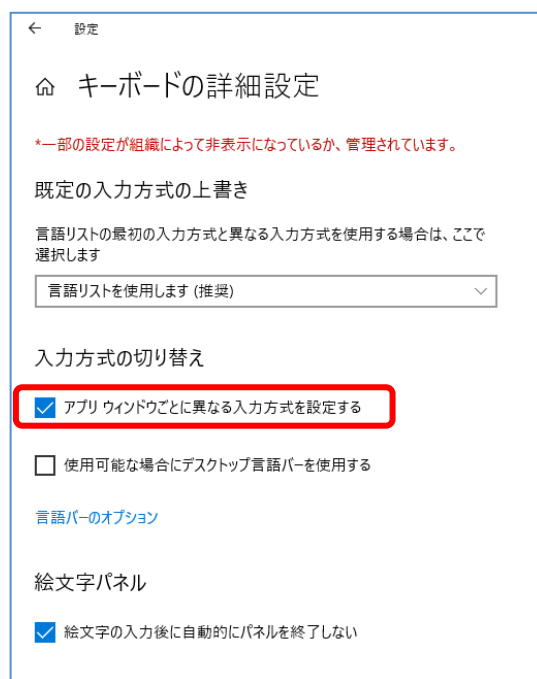
- 3 [現在のプロファイル]と表示されているネットワークにある[ファイルとプリンターの共有]で、[ファイルとプリンターの共有を有効にする]を選択します。



- 4 [変更の保存]ボタンをクリックします。

■Windows 10 の入力方式の設定

- 1 [スタート]ボタンを右クリックして[設定]を選択します。
- 2 [時刻と言語]をクリックします。
- 3 [地域と言語]をクリックします。
- 4 [キーボードの詳細設定]をクリックします。
- 5 [アプリ ウィンドウごとに異なる入力方式を設定する]をチェックします。



■Windows 2019 の入力方式の設定

- 1 [スタート]ボタンを右クリックして[設定]を選択します。
- 2 [時刻と言語]をクリックします。
- 3 [言語]をクリックします。

- 4 [スペルチェック、入力、およびキーボードの設定]をクリックします。
- 5 [キーボードの詳細設定]をクリックします。
- 6 [アプリ ウィンドウごとに異なる入力方式を設定する]をチェックします。

■Windows 8.1/2016/2012 の入力方式の設定

- 1 [Windows]キー+[X]キーを押してメニューを表示させ、[コントロールパネル]を選択します。
 - ・コントロールパネルがカテゴリ表示の場合
[言語の追加]をクリックします。
 - ・コントロールパネルがアイコン表示の場合
[言語]をクリックします。
- 2 [詳細設定]をクリックします。
- 3 [アプリ ウィンドウごとに異なる入力方式を設定する]をチェックします。



- 4 [保存]ボタンをクリックします。

■2008 のネットワーク接続の設定

※すでに構築されているネットワークに参加する場合は、通信プロトコル、コンピュータ名などの設定方法をネットワーク管理者に問い合わせてください。

1 Administrator 権限で、Windows にログオンします。

※ 制限ユーザーでは、設定することができません。

2 [スタート]メニューー[コントロールパネル]を選択します。

・コントロールパネルがカテゴリ表示の場合

① [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

・コントロールパネルがクラシック表示の場合

① [ネットワークと共有センター]アイコンをダブルクリックします。

[ネットワークと共有センター]画面が表示されます。

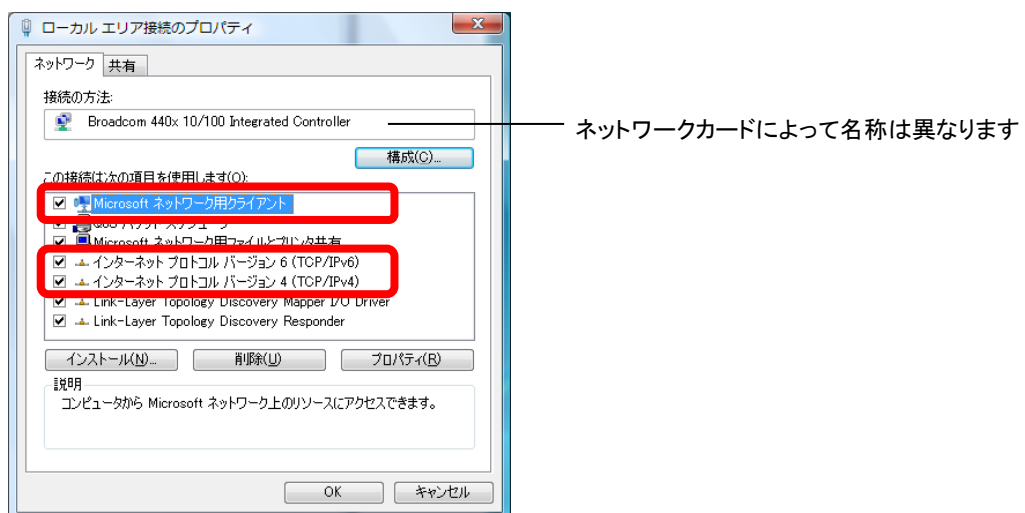
3 画面左側のタスクから[ネットワーク接続の管理]をクリックします。

[ネットワーク接続]画面に切り替わります。

4 [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックして、表示されたメニューから[プロパティ]を選択すると、[ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログが表示されます。

※ [ユーザーアカウント制御] のメッセージが表示された場合は、[続行] ボタンをクリックしてください。

5 「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「インターネットプロトコル バージョン 6(TCP/IPv6)」、「インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」がチェックされていることを確認してください。



6 完了したら[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

7 コンピュータ名を設定します。[システム]画面を表示させてください。

・コントロールパネルがカテゴリ表示の場合

①[システムとメンテナンス]をクリックします。

②[システム]をクリックします。

・コントロールパネルがクラシック表示の場合

①[システム]アイコンをダブルクリックします。

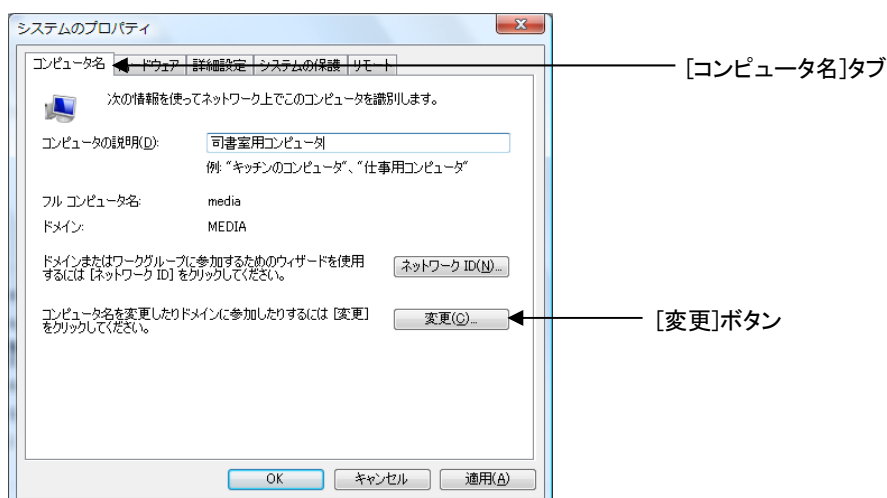
[システム]画面が表示されます。

8 [コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定]の[設定と変更]をクリックします。

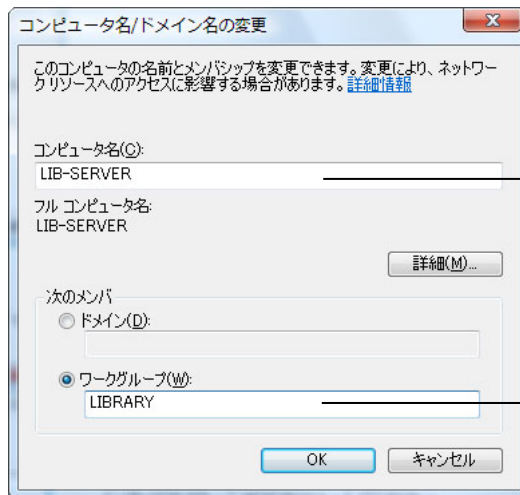


※ [ユーザーアカウント制御] のメッセージが表示された場合は、[続行] ボタンをクリックしてください。

9 [システムのプロパティ]ダイアログが表示されたら、[コンピュータ名]タブをクリックします。



- 10** [変更]ボタンをクリックします。
[コンピュータ名/ドメイン名の変更]ダイアログが表示されるので、コンピュータ名とワークグループを設定します。



コンピュータ名
「LIB-SERVER」「MOKUROKU」「ETURAN」「OPAC」など識別しやすい名前にします。

ワークグループ
「LIBRARY」などで統一します。

注意

- ・コンピュータ名、ワークグループは半角英数字で入力してください。漢字など全角は使えません。
- ・コンピュータ名は、ネットワーク内で重複しないように付けてください。

- 11** 入力が終わったら[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

[スタート]メニューー[コンピュータ]を選択します。左側の[フォルダ]をクリックして、ネットワーク上の他のコンピュータが表示されることを確認します。

■Windows 2008 のファイアウォールの設定

Windows 2008 では、自動的にファイアウォールの設定がされ、自由にデータの受け渡しができなくなるため、LibMax を使用するためには設定が必要です。

- 1** [スタート]メニューー[コントロールパネル]を選択します。

・コントロールパネルがカテゴリ表示の場合

- ①[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックします。

※ [ユーザーアカウント制御] のメッセージが表示された場合は、[続行] ボタンをクリックしてください。

・コントロールパネルがクラシック表示の場合

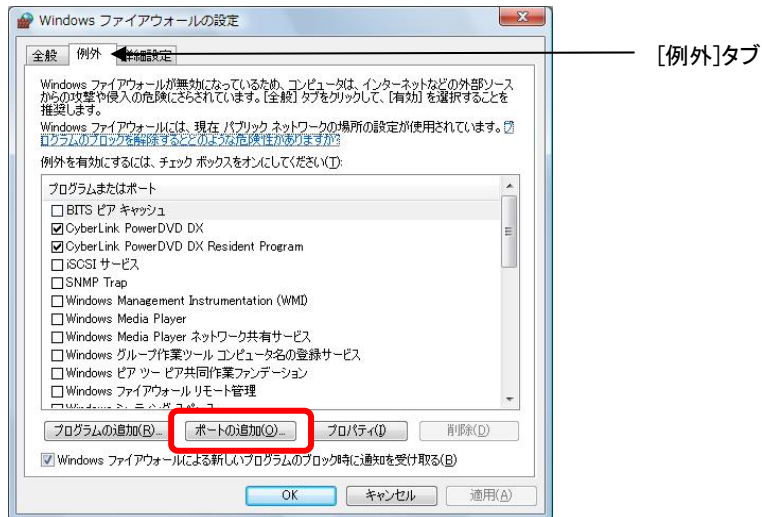
- ① [Windows ファイアウォール]アイコンをダブルクリックします。

- ② [Windows ファイアウォール]画面左上のタスクから[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックします。

※ [ユーザーアカウント制御]のメッセージが表示された場合は、[続行]ボタンをクリックしてください。

[Windows ファイアウォールの設定]ダイアログが表示されます。

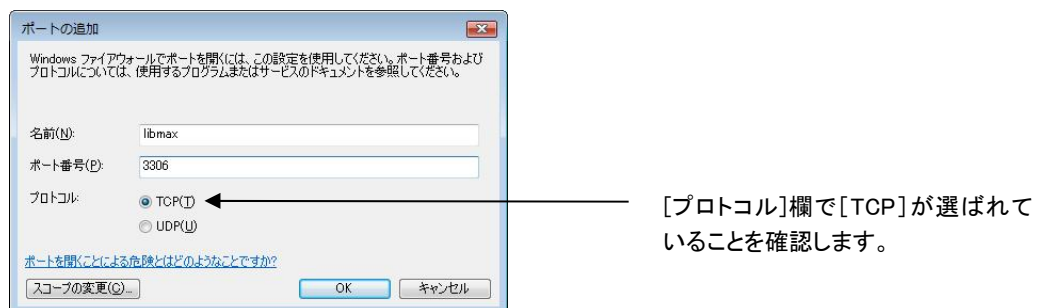
2 [Windows ファイアウォールの設定]画面が表示されたら、[例外]タブをクリックします。



3 [ポートの追加]ボタンをクリックします。

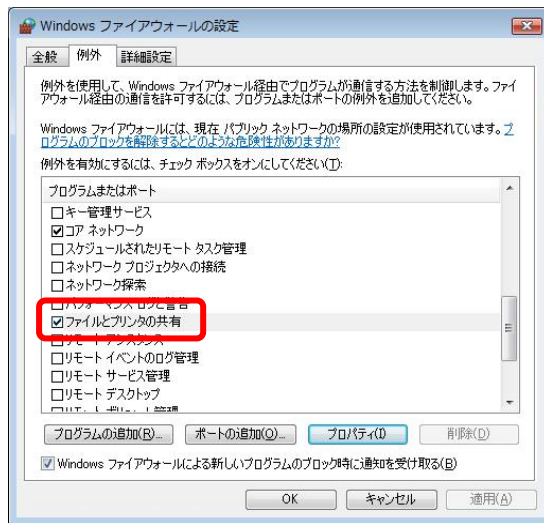
[ポートの追加]ダイアログが表示されます。

4 [名前]欄に半角アルファベットで「LibMax」と入力し、[ポート番号]欄に「3306」と入力します。



5 [OK]ボタンをクリックします。

[Windows ファイアウォールの設定]画面に戻ります。

6 [プログラムまたはポート]の欄で「ファイルとプリンタの共有」をチェックします。**7** [OK]ボタンをクリックします。

設定が有効になります。

Step3 セットアップする

注意

他のプログラムを起動している時は、終了してからセットアップを実行してください。

セットアップの前にユーザーアカウント制御 (UAC) を無効にする必要があります。次の手順で操作してください。

■Windows10/8.1/7/2019/2016/2012 および Windows Server 2008 R2

- ① Administrator 権限で Windows にログオンします。
- ② Windows10/2019/2016 の場合は、スタートメニューの右横にある  をクリックして検索欄を表示させます。「コントロールパネル」と入力すると、検索結果に[コントロールパネル]が表示されるので、クリックします。Windows8.1/2012 の場合は、[Windows]キー+[X]キーを押してメニューを表示させ、[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]→[ユーザーアカウント]の順にクリックします。
Windows7 および Windows Server2008 R2 の場合は、[スタート]メニュー→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]→[ユーザーアカウント]の順にクリックします。
- ③ [ユーザーアカウントの変更]ウィンドウで[ユーザーアカウント制御設定の変更]をクリックします。
- ④ コンピューターの変更許可の確認メッセージが表示されたときは、[はい]ボタンをクリックします。
- ⑤ [ユーザーアカウント制御の設定]ウィンドウでスライダを一番下の[通知しない]まで下げて、[OK]ボタンをクリックします。
- ⑥ コンピューターの変更許可の確認メッセージが表示されたときは、[はい]ボタンをクリックします。
- ⑦ パソコンを再起動します。

■Windows Server 2008

- ① Administrator 権限で Windows にログオンします。
- ② [スタート]メニュー→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]→[ユーザーアカウント]の順にクリックします。
- ③ [ユーザーアカウント]ウィンドウで、[ユーザーアカウント制御の有効化または無効化]をクリックします。
- ④ 続行の許可を確認するメッセージが表示されたときは、[続行]ボタンをクリックします。
- ⑤ [ユーザーアカウント制御の有効化または無効化]ウィンドウが表示されます。[ユーザーアカウント制御 (UAC) を使ってコンピュータの保護に役立たせる]のチェックを外して、[OK]ボタンをクリックします。
- ⑥ パソコンを再起動します。

**注意**

旧バージョンからバージョンアップする場合、LibMax データは、事前にバックアップしてください。

セットアップは、お使いのすべてのサーバ、およびクライアントで実行してください。

LibMax の環境設定をするためには、Windows のネットワークが正常に動作している必要があります。ネットワークプロトコル TCP/IP は必須です。

LibMax のデータはデータベースのインストール先にセットアップ・蓄積されます。ハードディスクの空き容量を十分に確認の上、インストール先を決定してください。
空き容量は図書冊数1万冊につき、約 100MB が目安です。

1 Administrator 権限で Windows にログインします。ウイルス対策ソフトは、いったん終了してください。

2 パソコンに、LibMax の CD-ROM をセットします。

自動的にインストーラが起動し、[LibMax セットアップランチャ]画面が表示されます。

※ [LibMax セットアップランチャ]画面が自動的に表示されない場合は、[マイコンピュータ] から CD ドライブを開き、INSTALL (.EXE) をダブルクリックします。

インストール項目

サーバ&クライアント
1台のパソコンで運用する場合と、複数台のパソコンで運用する場合、サーバをセットアップするときに選択する項目です。

クライアント
複数台のパソコンで運用する場合、クライアントをセットアップするときに選択する項目です。

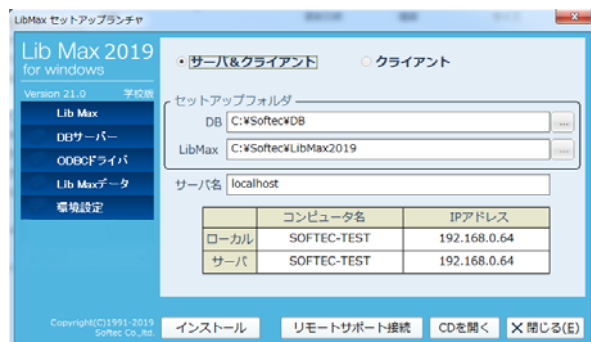
リモートサポート接続
クリックすると、自動的にブラウザが起動して、リモートサポートの画面が表示されます。
※インターネットに接続している必要があります。
※ネットワークの設定状況によっては、ご利用いただけない場合があります。

CDを開く
LibMax の CD-ROM の中身を表示させたいときは、[CDを開く]ボタンをクリックしてください。エクスプローラが起動し、CD-ROM に保存されているフォルダが一覧表示されます。

3 [サーバ&クライアント]、または[クライアント]のいずれかをクリックして、セットアップタイプを選択します。

選択したセットアップタイプによって、画面の表示内容が異なります。

■サーバ&クライアントを選択した場合



左のような画面が表示されます。
[インストール項目]に表示された項目のみ、上から順にインストールされます。

■クライアントを選択した場合



左のような画面が表示されます。
[インストール項目]表示された項目のみ、上から順にインストールされます。

4 インストール先のフォルダとサーバ名を設定します。

■サーバ&クライアントを選択した場合

DB: DB サーバーをインストールするフォルダを設定します。インストール先の初期値は「C:\Softec\DB」です。変更する場合は、[...] ボタンをクリックして、フォルダを選択してください。

LibMax: LibMax 2019 をインストールするフォルダを設定します。インストール先の初期値は、「C:\Softec\LibMax2019」です。変更する場合は、[...] ボタンをクリックしてフォルダを選択してください。

サーバ名: [LibMax セットアップランチャ]画面の表で、[ローカル]の行に表示されているコンピュータ名か IP アドレスを入力してください。サーバが Linux の場合は、コンピュータ名を指定できないため、IP アドレスで指定します。

■クライアントを選択した場合

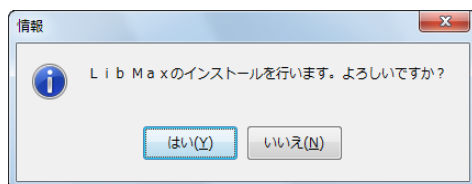
LibMax: LibMax2019 をインストールするフォルダを入力します。インストール先の初期値は、「C:\Softec\LibMax2019」です。変更する場合は [...] ボタンをクリックしてフォルダを選択してください。

サーバ名: 「サーバ&クライアントを選択した場合」の [LibMax セットアップランチャ]画面で、表の [ローカル]の行に表示されているコンピュータ名か IP アドレスを入力してください。サーバが

Linux の場合は、コンピュータ名を指定できないため、IP アドレスで指定します。

5 [インストール]ボタンをクリックします。

「LibMax のインストールを行います。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。



6 [はい]ボタンをクリックします。

[インストール項目]に表示されている順番に、インストールが実行されます。

インストールされた項目には、[インストール項目]のボタンにチェックマークが付きます。

7 必要な項目がすべてインストールされると、「正常に終了しました。」というメッセージが表示されます。

8 [OK]ボタンをクリックします。

[LibMax セットアップランチャ]画面に戻ります。

9 [LibMax セットアップランチャ]画面の[閉じる]ボタンをクリックします。

「セットアップを完了させるために、コンピュータを再起動してください。」というメッセージが表示されます。

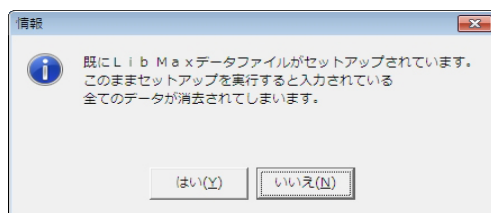
10 [OK]ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。

以上で、セットアップは完了です。



注意

既に LibMax データがセットアップされている場合、途中で次のメッセージが表示されます。



この場合、そのまま実行するとすべてのデータが消去されてしまいます。

新規導入時、または LibMax 2010 以前からのバージョンアップ以外は、実行しないよう[いいえ]ボタンをクリックしてください。



補足

インストールの途中でエラーメッセージが表示された場合は、「エラーが表示されたら」<P.29>を参照してください。



●制限ユーザで LibMax を起動するとき

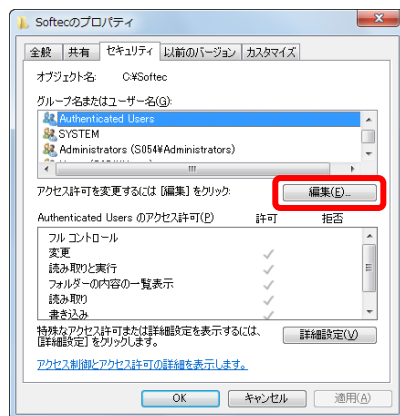
カウンターでの窓口業務に使用するなど、制限付ユーザで Windows にログオンしてお使いになる場合、アクセス権限を設定する必要があります。

※ Administrator 権限で行ってください。

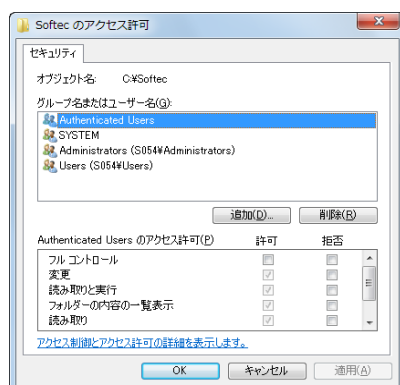
ここでは、LibMax が C ドライブにインストールされていると仮定して手順を説明しています。インストールドライブが C ドライブではない場合、実際のインストールドライブに読み替えて手順を実行してください。

- ① [エクスプローラ]、または [マイコンピュータ] を開き、LibMax のインストールされている [ローカルディスク(C:)] → [Softec] フォルダを右クリック、メニュー [プロパティ] を選択します。
[Softec のプロパティ] ウィンドウが表示されます。

- ② [セキュリティ] タブをクリックして、[編集] ボタンをクリックします。



[Softec のアクセス許可] ウィンドウが表示されます。

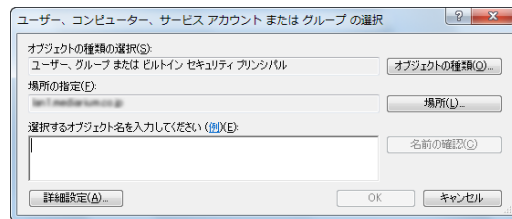


[グループ名またはユーザー名] に「Everyone」がある場合は、⑤へ進んでください。

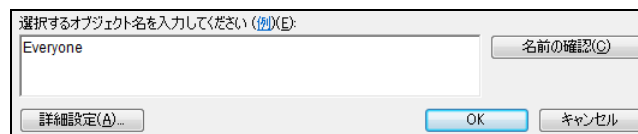
[グループ名またはユーザー名] に「Everyone」がない場合は、③へ進んでください。

③ [追加]ボタンをクリックします。

[ユーザー、コンピューター、サービスアカウント、またはグループの選択]ウィンドウが表示されます。

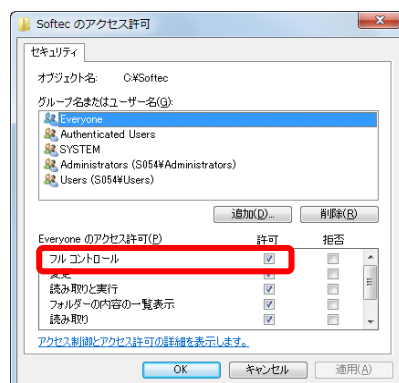


④ [選択するオブジェクト名を入力してください]欄に半角で「Everyone (または everyone)」と入力して、[OK]ボタンをクリックします。



[Softec のアクセス許可]ウィンドウに、「Everyone」が追加されています。

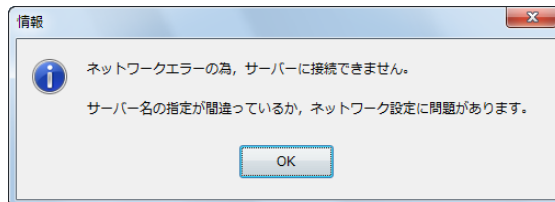
⑤ 「Everyone」を選択し、[フルコントロール]の「許可」をチェックして、[OK]ボタンをクリックします。



⑥ [Softec のプロパティ]ウィンドウに戻ります。[OK]ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

エラーが表示されたら

エラーメッセージが表示された場合、以下を確認してください。確認後、[LibMax セットアップランチャ]画面から、再度、インストールを実行してください。



■ サーバ名を間違えていませんか？

サーバ名に間違いがある状態で接続のテストを実行しました。

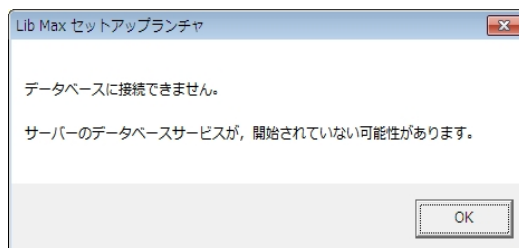
サーバ名をご確認ください。〈P.24〉

■ サーバは起動していますか？サーバと接続できますか？

サーバが起動していない、またはサーバとのネットワークが正常に動作していない可能性があります。

■ ネットワークプロトコル(TCP/IP)はインストールされていますか？

サーバと、現在ネットワーク設定を実行しているパソコンに「ネットワークプロトコル(TCP/IP)」がインストールされていない可能性があります。ネットワーク設定を再度ご確認ください。



■ データベースサービスは起動していますか？

サーバのデータベースサービスが起動していない可能性があります。いったんパソコンを再起動してください。